

令和 2 年度 協働型学校評価のまとめ ～「我が家の協働型学校評価の重点目標」への取組を通して～

仙台市立将監小学校

1 本校の協働型学校評価における重点目標について

令和 2 年度 将監小学校「協働型学校評価の重点目標（目指す子供の姿）」

- ◎ 進んで挨拶や返事ができる
- ◎ 場に応じた言葉遣いができ、正しい行動がとれる
 - ・スローガン：心も体も元気 生き生き将監っ子
 - ・目的：「コミュニケーション力の育成・望ましい生活習慣の形成」を通して、人との関わりを大切にする子供を育て、自己肯定感を育む。

2 成果の検証方法及び目標の達成度について

・アンケート回収率

学年・学級間での差は認められましたが、全校で 97% の高い回収率になりました。1 学年のデータを含むため、全校での単純比較はできないものの、アンケート回収率が全校の対前年度比で +10% となり、取組への関心度が高くなったことがうかがえました。特に 4・6 学年での増加が顕著でした。また、多くのご家庭で昨年度同様しっかりと目標設定をしていただき、取組への関心の高さをうかがうことができました。

・アンケートの結果

「我が家の重点目標」を設定して取り組んだ結果、年度末の自己評価において 9 割近く (88%) のご家庭で「子供がより良く変わった」という記述が見られました。特に、3・4 学年で「十分満足できる改善が見られた」と思われる記述の増加が顕著で、4 学年では「あまり変わらない」と思われる記述の減少も目立ちました。昨年度に続き、「子どもの肯定的な評価」をねらいとして目標が設定されていることを、各ご家庭でしっかりと捉え、取り組んでいただいたことがうかがえました。ご家庭によって取り組み方や残された課題に差はあるものの、「子供の良いところを見付け伸ばす」という目的を達成できたものと思います。

・職員の取組

各学級において、目指すべき子供たちの姿と、そのための手立てを具体的に設定して取り組み、その変容について振り返りを行いました。その結果から、子どもたちの変容を検証できました。

3 今年度の取組の成果

昨年度より、各ご家庭でお子さんのあるべき姿を具体的に想定し、「我が家の協働型学校評価の重点目標」を設定し、親子でコミュニケーションを図りながら取り組んでいただいております。ご家庭でお子さんの「よさ」を認め、励ますと共に、今後取り組むべきことを明確にすることができているものと思います。

学校においては、昨年度に引き続き「人との関わりを大切にする」を主眼に置き、教育活動の全般について、全職員で改善のための努力を続けてきました。また、道徳教育をはじめとした授業における指導、児童会活動等の教育諸活動をとおして、職員の共通理解のもとに同じ方向を目指して取り組んできました。担任からの一方的な指導によることなく、児童自らが振り返りを行うことで、より良い方策を自分で考えさせたり、学級を自分たちで変えられるということを実感させたりすることで、「自主・自律」や自己肯定感を育んできました。今年度はコロナ禍のため、学習活動が制限されることが多くありましたが、各担任が具体的な手立てを講じながら意識的に取り組み、繰り返して指導してきたことによって、一定の成果が得られました。この取組を、今後も継続していきたいと考えます。

4 今後の課題

今後も、学級や学年の実態、発達段階に応じて手立てを講ずると共に、成果と課題について常に検証しながら、より具体的で効果的な手立てを探っていきます。また、家庭での取組と成果を担当が常に把握することに努め、引き続き家庭との連携のもとに取り組んでいきたいと思います。学校は全職員が一丸となり、子供たち一人一人が健やかに成長できるよう、適切な指導に取り組んで参りますので、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

5 各ご家庭の取組で参考にさせていただきたいものを、以下に紹介させていただきます。

保護者の方々の取組や感想 <自己評価記入欄より（抜粋）>

※（低）：1・2年 （中）：3・4年 （高）：5・6年

- ① 帰宅後は、学校での出来事を話題に出して、困ったことや気になったことがあった時は、本人の思いを汲み取りながら、「どうすれば良いか、どうしていきたいか」を話し合っていくことで、周囲とのコミュニケーション力を積み重ねていけるようにしてきました。（低）
- ② 旗当番などの地域の方々には自分から挨拶をしていたようです。習い事の間でも帰りにはきちんと「ありがとうございました」を自ら言っていました。今後は、お互いが気持ちよくなる挨拶ができるように心がけていってほしいです。（低）
- ③ （中略）できている項目を見ると、「1年弱でこんなに成長したんだな」と思う程ほぼ全てできるようになっていました。今後も続けていきたいです。（低）
- ④ 少しずつ、周りに言われる前にやるべきことに気付いて、自分からできるようになってきました。まだまだ言われてからやることが多いですが、「やりなさい」と言うのではなく、本人が気付くような雰囲気などを作れるように、家族で取り組んでいきたいと思います。（低）

- ⑤ 「進んで」とまではいきませんが、しっかり返事などが出来るようになってきたのではないかと思います。自分の考え、思っていることをはっきりと他者に伝えるコミュニケーション力はとても伸びたと感じました。(低)
- ⑥ 元気よく大きな声で挨拶できるようになりました。もじもじすることも少なくなり、自分から積極的に行動しているようです。次は、他人の気持ちを考えて行動することが目標です。(低)
- ⑦ 以前は、うまく自分の気持ちを伝えられず、家に帰ってからくよくよすることがありました。そんな時は、家庭でもよく話を聞き、「こんな風に伝えたら良かったんじゃない？」とアドバイスしました。少しずつ気持ちを伝えられるようになり、最近は毎日楽しく学校へ通っているようです。(低)
- ⑧ まずは、素直に「はい」と言うように努力をしていたと思います。以前は言い訳が先でしたが、最近は言われたことを一度受け止めて、自分が直した方がいいと思うことを理解し、それでも言いたいことがある時に言うようになりました。まずは受け止めるということが少しずつできるようになったと思います。(低)
- ⑨ 目標を意識してか、たまに留守番をしている時にリビングを片付けてくれることが増えて、とても驚いています。大人に言われてからではなく、自分で考えて行動できるようになってくれて、非常にうれしく思います。(低)
- ⑩ 外出も減ったため、知人宅でというのはなかなかありませんが、登校中や学校で先生や友達には挨拶をしていたようです。よその家にお邪魔する機会がなく、相手に挨拶するということをちゃんと教えないと分からないと思うので、親からも積極的に挨拶をして返してもらうように気を付けたいです。今後も続けていきたいです。(低)
- ⑪ 家で思ったこと、嫌だったこと、先生に伝えたいことなどを言った時、自分で言うように励ましたり、きっかけを作ったり、相手はこう思うのではないかとある程度の見通しを付けたりしました。先生も協力してくれて、今では自分のことを少しずつ言えるようになってきたと思います。それが挨拶にもつながり、すごく伸びたと思います。(低)
- ⑫ (中略)家庭では1日の振り返りを心がけ、嫌なことを言ってしまった・やってしまった時、「どうすれば良かったか」と、短い時間でも話し合うようにしています。まだまだですが、以前よりは少し成長できているように感じます。(中)
- ⑬ (目標：言われたことに素直に「はい」と言えるようにする)
- 自分に対するアドバイスを、自分が成長するためのものと捉えることが徐々にできるようになってきていると思います。(中)

⑭ (目標：言われたことに素直に「はい」と言い、間違っことは素直に認める)

6月の頃よりは、素直に間違いを認めることができるようになってきたように思います。頑固に自分の意見を通そうとすることが多かったのですが、声がけすることで少しずつ折れることもできるようになりました。(中)

⑮ 学校であったことを家で話す時、本当かどうか確かめてもないことを言ったり、自分に都合の悪いことを言わなかったりすることがあったので、親の方でよく確かめながら話を聞くようにしました。少しずつですが、素直に間違いを認めたり、元気よく「はい」という返事ができたりするようになってきました。(中)

⑯ 子供との毎日の会話を通じて、その日の場面毎に適切な挨拶ができていたかどうかを確認しました。人との距離を取らないといけないコロナ禍ですが、そのような世の中だからこそ挨拶が大事だと、本人も感じているようです。(中)

⑰ コロナの中、あまり挨拶をする機会が今までよりも無かったのですが、それでも目を見て挨拶をしたり、マスクの下でも元気が伝わるように、声のトーンを上げたりするように心がけていました。(中)

⑱ 「学校で困っている人に手助けをする、話しかけてみる」を目標にしてみました。学校で意地悪されたりしていた子をかばってやったりしていたと聞いていたので、目標は守られていると思いました。(中)

⑲ 以前はとにかく集中力が無く、話しながら・歌いながらと、宿題を終わらせるのに時間がかかっていたのですが、重点目標として意識することによって、ようやく黙々とこなせるようになり、安心しました。(中)

⑳ 本人が話をし始めた時は、きちんと顔を見て聞くようにし、話しやすい環境を作るようにしました。本人が話したことに対してジャッジすることはせず、共感したり、認めたりするように心がけたことで、これまでより格段に話してくれることが増えました。普段の何げないことも、「そんな風に感じていたんだ……」と改めて子供の思いを知ることができました。(中)

㉑ まだまだ相手の傷つくことを言うてしまうことはたまにありますが、少しずつではありますが、相手の様子を見て「この言葉を言ったら傷付くんじゃないかな？」と考えて話していると思います。家では、相手が傷つくことを言うてしまった時は、その都度、相手がどんな気持ちになったかを繰り返し伝えるようにしました。(中)

- ② まずは自分(親)から積極的に挨拶を行い、また、場面において子供を促しました。少しずつですが、自主的に挨拶ができるようになりました。(中)
- ③ 挨拶することの大切さを家庭でも話をすることができました。近所の方から「いつも挨拶してくれる」と聞き、嬉しく思いました。今後も人との関わりを大切にしてほしいと思います。(中)
- ④ テレビやゲームや遊びなど、やりたいことがたくさんある中でも、時間を守ることを伝えると、素直に「はい」と聞き入れてくれました。お手伝いをお願いすると、本人がやりたいことと任せられることが違ったりもしましたが、説明すれば「はい」と言って、できることをたくさん手伝ってくれました。時々は渋々という感じも見られますが、家族の一員であること、大事な戦力であることに気付いてくれたようです。(中)
- ⑤ 挨拶の大切さについて話し合ったりしたので、以前に比べて自分から言うことが増えたと思います。これからも続けていってほしいと思います。(中)
- ⑥ 話す言葉をきちんと考え、選び、どうしたら自分の考えが相手に伝わるかを意識して話すようになりました。(中)
- ⑦ 毎日の習慣として本人と話し合い、明確な日常的なルールを作りました。守るように、声かけは常にしていました。まだまだ忘れてしまうことも多くありましたが、自主的に動いて約束事を守れる日も増えてきたので、進級しても継続していきたいと思います。(中)
- ⑧ 恥ずかしがりやな為、どうしても声が小さくなりがちですが、自信がある時は、はきはきと伝えることができるようになってきました。自信が持てるように励ますことを引き続き行っていきたいと思います。(中)
- ⑨ 朝に旗を持っているおじさんに挨拶ができるようになったようです。この調子で頑張ってください。(中)
- ⑩ 最近はとても明るく、表情にも笑顔がたくさん出てきました。学校であったことなどを、たくさん話してくれるので、「楽しさをバネに頑張ってください」と、朝は一番元気に自分も声を掛けるようにしていました。なかなか挨拶はできないようですが、このまま楽しい学校生活を送れればと思います。(中)
- ⑪ 分かりやすく話そうとしてくれていたと思います。目標が達成できていると思います。(中)

- ③② 昨年よりも挨拶を自分から言う回数が増えました。挨拶の声の大きさも、はっきり言えるようになりました。人と挨拶をする時、相手の方を見たり、目を見て挨拶したりできています。荷物が多い時や疲れている時は挨拶に元気が無いので、はっきりした挨拶がいつも続けられるようにしてほしいです。(中)
- ③③ 家に帰った後で学校での様子を聞くようにしました。最初は話すのを面倒くさがっていましたが、段々と自分から話してくれるようになり、筋道を立てて話せるようになってきました。どうしたいかを聞いたりした時も、自分なりに考えて意見を伝えられるようになってきていて、進歩を感じています。(高)
- ③④ なるべく穏やかな気持ちで挨拶をするよう、家族で心がけました。家族にも、その他近所の方などにも自分から進んで挨拶ができるようになったと思います。(高)
- ③⑤ (目標：大人や目上の人に対して丁寧な言葉で話す)
自分で状況を判断して、言葉や話しかけるタイミングを選ぶことが上達したと思われま
す。(高)
- ③⑥ 本人が納得して素直に「はい」と言えるように、声かけの仕方や話し方に気を付けて生活して
きました。以前よりも穏やかに話をするようになり、生活できているように思います。(高)
- ③⑦ 丁寧な言葉遣いをするように気を付けると共に、相手の話を落ち着いて聞くことも大切だと思
いました。語彙力が上がるように、読書する時間を増やしたりしてほしいです。(高)
- ③⑧ 目標に向かって取り組む姿が見られました。戸惑いがありながらも、進んで挨拶をしようとい
う意識を持って過ごした1年でした。「元気に」ということが加われば、より良いと思いますの
で、今後も続けていけるように見守っていきたいと思います。(高)
- ③⑨ コロナ禍において、あまり人前で大きな声で元気よく発言・挨拶をする機会がありませんで
したが、お店で店員さんに物事を尋ねたり、お礼を言ったりする姿が見られました。今後も、人前
で発言することは恥ずかしいことではないということを伝えつつ、機会があったら積極的に発言
・挨拶をしていってほしいと思います。(高)
- ③⑩ 自分が言われたら嫌かもしれない…と思った言葉を言ってしまった時には、その都度確認を
しました。少しずつ言葉を言う前に言っていていいか悪いか考えて話ができるようになってきたと思
います。(高)
- ③⑪ その都度、正しい言葉遣いとは何かを話し合い、使い方を学んでいけるようにしました。また、
家庭内での会話や挨拶にも意識を向けていくことで、丁寧な話し方ややり取りができるように心

- がけてきました。家庭内では敬語や挨拶を進んで実行できる場面が増えていきます。(高)
- ④② 家庭でお互いに気持ちよく挨拶をしました。地域の中でお会いした方や、子供会活動等(資源回収やウォークラリー)の際、相手を見てきちんと挨拶できていました。(高)
- ④③ 『親しき仲にも礼儀あり』、まずは家族間での朝の挨拶をしっかりすることを意識して取り組みました。本人も、お友達や近所の方々への挨拶を以前よりもしっかりしている様子です。(高)
- ④④ 落ち着いて、要点をまとめて話すことができるようになってきました。自分の立てた目標に取り組み、達成することにやりがいを持てるようになりました。宿題をやったり明日持つて行く物を準備したりするなど、必要に応じて考えられるようになってきたと感じています。(高)
- ④⑤ 家族・友人・先生方はもちろん、地域の方々にも進んで挨拶をする習慣が身に付いたようです。挨拶は基本なので、これからも取り組んでほしいです。(高)
- ④⑥ 近所の方などからも「挨拶してくれてうれしい」と何度か言われました。今後も元気に挨拶してもらいたいです。(高)
- ④⑦ (目標：有言実行)
完遂という所までいけているわけではないものの、計画を立てて実行しようとする姿勢が見えるようになってきました。現実的な目標設定など主体的に取り組もうとする場面も多く見られ、特に学習面では自学などに手応えを感じているようです。(高)
- ④⑧ (目標：相手に対して気持ちの良い挨拶や、はきはきした受け答えをする)
学校の友達や先生、その他、地域や習い事等で会う様々な人に対しての接し方について、本人と話し合うことで、以前よりも挨拶や会話の仕方を意識しながら生活を送ることができたと思います。相手の立場になって物事を考えることの大切さに気付く、良いきっかけになったと思います。(高)
- ④⑨ 家庭内や習い事の際に、親であったり先生など目上の人と話をする時に、相手の目を見ながら丁寧な言葉で話ができるようになってきました。下級生の面倒も最上級生として、少しずつできていると感じています。学校など、保護者のいない時でも同じようにできているとうれしいです。(高)
- ④⑩ 今年度努力してできるようになったことは、自分の考えを言葉で伝えられるようになったことです。これまでは、相手がどのように思うかを第一に考えていたようなので、家庭の方でもどのように話すとよいか機会を捉えて話をしてきました。6年生のうちにこのような力を伸ばすことができたことは、中学生活にも生かせるので、大変良かったと思っております。(高)